

官民連携による『海に見える交流館』の設計者と運営事業者を決定しました。

西郷港周辺まちづくりのあゆみ

2018年(平成30年)

- ・西郷港周辺の活性化を目的とし、町民参加のまちづくり談義をスタートしました。

2020年(令和2年)

- ・西郷港玄関口まちづくり計画を策定しました。

2021年(令和3年)

- ・町民の皆さまと意見交換会を重ね、西郷港周辺のデザインを募集するコンペの仕様書を作りました。
- ・小中学生・高校生とのまちづくり授業を開始しました。

2022年(令和4年)

- ・デザインコンペを開催し、最優秀作品をエリアデザインとして決定しました。デザイン集にこれまでのまちづくりのあゆみをまとめました。



まちづくり談義の様子



デザイン集

2023年(令和5年)

- ・「地権者の会」を設置しました。
- ・エリアデザインの基本計画づくりを開始しました。

2024年(令和6年)

- ・西郷港周辺まちづくりの全体像を説明するため「西郷港周辺まちづくりシンポジウム」を開催しました。
- ・まちづくり仮拠点「うみやまもっとあつまれ」をオープンしました。



うみやまもっとあつまれ
オープンの様子

2025年(令和7年)

- ・3月10日運営者を決定しました。
- ・3月29日コンペを実施し設計者を決定しました。

- ・『海に見える交流館』2027年(令和9年) オープンに向けて準備を進めています。

西郷港周辺まちづくりプロジェクトに関するニュースレターVol.2をお届けします。

7年前から始まった西郷港周辺まちづくりは、「海とまちをつなぎ 世代をつなぐまちづくり」を理念としています。西郷港は、隠岐の島町の海の玄関口であり、町全体の活力を高める大切な場所です。

『海に見える交流館』の整備は、全国でも先進的な官民連携の手法を取り入れています。

『海に見える交流館』の運営者については、全国に公募し、審査委員会の審査を経て2025年3月10日に決定しました。官民連携とは 町有施設を建設前に民間の運営者を決定し、運営者が運営権を町から取得することで、施設の設計から共同で進める手法です。

運営者に続いて、交流館のデザインを決めるために全国設計コンペを行いました。一時審査の後2025年3月29日に公開プレゼンテーションとヒアリングを役場町民ホールで開催し、その後に審査委員会の審査を経て設計者を決定しました。

▼設計コンペの作品は、すべて一般公開しました。



▼公開プレゼンテーション・ヒアリングの様子



公開プレゼンテーション・ヒアリングの様子を、
YouTubeにて配信しております。

YouTube QRコード



YouTube 検索



海に見える交流施設コンペティション

『海見える交流館』の設計者と運営事業者を紹介します。



海見える交流館の設計は、隠岐の島町と旅工舎 & 幸正丸と河内建築設計事務所が一緒になって進めます。

(株)河内建築設計事務所
設計者 河内一泰 代表



だれもが立ち寄れる大きな
屋根をかけた軒下広場な
ど、多世代が交流できる場
所をつくります。

●『海見える交流館』イメージ



交流館の1階は飲食を中心とした空間で、軒下の広場も生かして利用者が楽しむ場を提供します。2階は、多世代が海を見ながら交流できる空間とします。

海見える交流館の設計は、町民の意見を聞きながら、運営者と隠岐の島町で進めます。

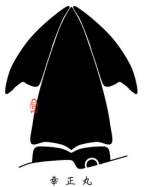


八幡洋公代表



1階運営事業者

旅工舎 & 幸正丸



隠岐の食材を使った食事の提供と特産品の販売を行います。
軒下広場も活用し、集いの場に！

飲食店の営業について

隠岐の食材を使ったメニューを中心に、地元のお客様はもちろん島外のお客様にも喜んでいただけるお料理を提供します。

さらに、テイクアウトや学生向けメニューの拡充を行い、誰でもどんな時でも気軽に利用できる店舗を運営します。

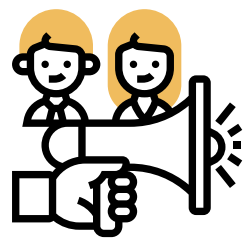
隠岐特産品の販売について

隠岐の自然の恵みを活かした特産品を加工製造し島内外に販売します。

地元農林水産事業者との連携を密にし、商品開発に取り組み隠岐ブランドの価値向上を目指します。



※イラスト・写真はイメージ



まちづくりシンポジウム 2025 海見える交流館 開催のお知らせ

交流館とその周辺の計画について、設計者・運営者を交えて直接意見交換ができる場です。

◎日時 2025年6月22日(日) 13:30～17:00(13:00開場) ◎会場 隠岐の島町役場 町民ホール